

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

数学 行田市立長野中学校

実施日 指導案検討 令和7年8月27日(水)
授業研究会 令和7年9月11日(木)
訪問者 指導主事 竹内 桂太

指導案検討会

●単元名

文字を用いた式(第2学年)

●本時の目標

- ・文字式のよさを味わうことができる。
《学びに向かう力、人間性等》
- ・別々の考え方でも、文字式に表し計算することで1つの式に統合して捉えることができる。
- ・正方形から条件を変えて様々な図形で文章問題を作成することができる。
《思考力、判断力、表現力等》

《授業者の思い・意図》

- ・生活の中で数学と関わる時間を増やしたい!
 - ・「なぜ」「どうして」を共有する授業にしたい!
- 「正方形の問題」から条件を変えて発展的に問題をつくる活動を設定

授業デザイン改善のPOINT

■ 課題(ゴール)の修正

「式に表す」から「条件を変えて問題をつくる」へ

■ 発展的な活動への変更

「全員統一の活動」から「生徒が条件を変えて自由に問題をつくる活動」へ

■ 個人で思考する時間の確保

「グループでの問題作り」から「個人で自由に問題作りをする時間の確保」へ

■ ICTにおける思考の共有

「班の代表の考えの共有」から「個人全員の考えの共有」へ

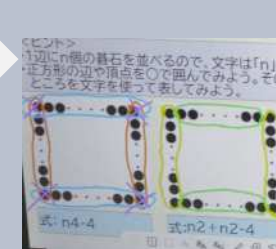
■ 振り返りの視点の共有

振り返りの視点を共有アプリを活用し配付

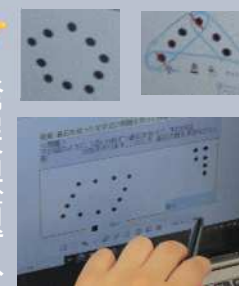
授業研究会

●生徒の変容や今後の課題

- ◎具体物からの導入により学習意欲が高まった。
- ◎生徒が「条件を変えて」発展的に作問する活動を取り入れたことで、解決の過程を振り返り、発展的に考察する機会となった。
- ▲活動が2つあり、時間のゆとりがなかったため、文字式に表すよさや気づきの共有が少なかった。



発展課題へ



■ 参加者の声

- ・様々な意見を交流することができたと思います。新しい視点に気付くことができました。1つの授業を考えるのに前時の内容がとても大切になるので自校でも教材研究に励みたいと思いました
(指導案検討会: 中学校教諭)
- ・なかなか中学の授業を見ることがないので、貴重な機会でした。小学校の6年間と中学校の3年間の繋がりを意識して日頃の授業実践をしていこうと思いました。
(授業研究会: 小学校教諭)

■ 授業者の声

- ・(指導案検討) 展開部分の後半に不安を感じていたため、指導案検討会で出た意見を参考に後半部分を大きく変更し、授業の流れや時間配分的にもスムーズに授業を展開することができました。
- ・(授業研究会) 授業後の研究協議でも授業の内容や生徒への声かけ、導入や振り返りの時間の改善点等、普段一人では気づきにくいところを知ることができたため、授業を振り返ることの大切さも学ぶことができました。
- ・(今後に向けて) 今後も数学的な思考力や表現力を育成する活動を多く取り入れ、生徒に数学の楽しさや必要性を身につけさせていきたいです。